

「憎しみの連鎖を断ち切る信仰の力」

～元日本海軍大佐の淵田美津雄と元米国陸軍軍曹のJ・ディシェイザーとの出会い～

「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」
ルカによる福音書23章34節

この言葉は、十字架上でイエスの語られた7つの言葉の一つです。この言葉に心を動かされた二人の人物がいました。一人は、淵田美津雄、元海軍大佐で、真珠湾攻撃の時の隊長でした。そして、もう一人は、ジェイコブ・ディシェイザー、元米軍軍曹で、パイロットでしたが、日本を爆撃後、中国に不時着しましたが、日本軍に捕らえられて、南京の収容所に入れられて厳しい生活を強いられました。最初は日本人に対して真珠湾攻撃以来大きな憎しみを抱いていました。しかし、ある時に収容所の仲間が赤痢のために亡くなり、彼のために形だけでも葬式をしてやるようにと、日本人の青田看守が聖書を買って、ディシェイザーに渡しました。友人の葬儀の為でしたが、ディシェイザー自身が、その聖書をむさぼるように読んで、心に刺さった言葉が、このイエスの赦しのことばでした。この日本人たちも何も知らずに戦争だからということひどい事をして、でもイエスのように彼らを赦そうという思いが与えられた。戦後、日本人を愛して、宣教師になり、日本にやってきて聖書のことばを伝えた。

ディシェイザーの路傍伝道での演説を聴いて、淵田も聖書を購入してむさぼるように読み、同じ、イエスのことばに感銘を受け、信仰を持ち、翌年のイースターに洗礼を受けた。

後に彼らは出会い、“自分たちは間違った価値観と、憎しみによって生きてきたが、それでは何も生まれません。赦しによって憎しみの連鎖を断ち切り、平和の関係を築かなければならない”と語り合った。

十字架は和解の力。その力が世界を平和に導くと信じます！